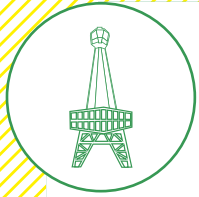


| 今までの大阪維新の会の改革実績 |



大阪の魅力を世界へアピール



官民一体の「大阪観光局」設立。

来阪外国人旅行者数は、約203万人(平成24年)から、**約260万人**超^{※1}(平成25年)へ。

外国人旅行者による観光収入は**1,796億円**^{※2}(平成25年)に。

※1 日本政府観光局「訪日外客数推計」観光庁「訪日外国人消費動向調査」をもとに推計

※2 大阪観光局による集計(大阪での消費額×来阪外国人旅行者数)一人当たり消費額69,112円

「大阪アーツカウンシル」の設置。

今までムダに使われてきた何億円という文化補助金。

専門家がルールに基づいて補助金を交付するシステム「大阪アーツカウンシル」が設置されました。

大阪のシンボル地域を規制緩和

▲大阪城でフリースタイル・モトクロスの世界的大会を2回開催。

▲御堂筋の高さ60m規制やレジデンス規制を撤廃。

超高層ビルが林立する、商業と住環境が融合した新しい都市へ。



議会を改革



2つの削減で、**6億円**以上の効果があります。

府議会で議員定数を

109人から**88人**へ削減、

また府議会議員報酬を**30%**削減。

活発な条例提出。

維新議員による条例提出が活発に行われ、

議会本来の役割を果たしています。

※国会では内閣による提出、地方議会では執行部による提出が当たり前になっています。



大阪府の施設における
国旗の掲揚及び教職員による
国歌の斉唱に関する条例

職員基本条例

教育基本条例

議員定数削減条例

議員報酬削減条例

が、**維新議員により**
提出されました。



教育の抜本的改革

「教育行政基本条例」
「大阪府立学校条例」を制定し、

大阪の教育を
根本から改革。

民意を代表する首長や
議会が関与した上で、

「教育振興
基本計画」

を策定。

これにより

新たな
教育評価制度の導入。

全府立学校に
学校協議会を設置。

全府立学校に
学校経営計画の
策定と学校評価の実施。

など、動き出しています。

生徒主体の
卒業式を

教員が卒業式等で、政治パフォーマンスを繰り返していましたが…

→これを違法化。「大阪府の施設における国旗の掲揚及び教職員による国歌の斉唱に関する条例」を制定。

→教員ではなく、生徒が主役として式典に参加できるようになりました。

